

二セ電話詐欺の認知状況（令和4年3月末）

～ A T Mでの携帯電話＝詐欺では！～

1 県内の二セ電話詐欺の認知状況（令和4年3月末）

- 被害認知件数は**28件**（前年同期比＋18件）
- 被害総額は**約8,749万円**（前年同期比＋約5,638万円）

2 令和4年3月の認知状況

- 被害認知件数は**9件**（前年同月比＋6件）
- 被害額は**約4,862万円**（前年同月比＋約4,839万円）
- 主な手口は
 - ・ 還付金詐欺 6件
 - ・ 架空料金請求詐欺 2件
 - ・ 金融商品詐欺 1件

3 県内の二セ電話詐欺の傾向（令和4年3月中）

3月中は、還付金詐欺の被害が急増しました。いずれも60歳代が狙われています。

犯人は市役所や町役場の職員を名乗り、60歳代に馴染み深い「介護保険料や医療費、年金」の還付を告げることで、被害者を信用させ、A T Mに誘導し、携帯電話を介してA T Mの操作を指示し、お金をだまし取ります。

公的機関への信頼、60歳代以上に馴染み深い話題を利用した手口は、現在も多くの被害者を陥れており、大切な財産を失って辛い思いを抱える県民の方がたくさんいます。

公的機関が電話でA T Mに誘導することは絶対にありません

「A T Mでの携帯電話＝詐欺では」という意識を持ち、御自身がだまされないことはもちろん、電話をしながらA T Mを操作している方を見かけたら積極的な声掛けをお願いします。卑劣な詐欺を無くすため、皆様の勇気ある一声が必要です！！

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢		令和4年3月末(人)		
		男性	女性	計
0	～ 19	-	-	-
20	～ 29	2	1	3
30	～ 39	-	-	-
40	～ 49	-	3	3
50	～ 59	2	1	3
60	～ 64	1	3	4
65	～ 69	3	7	10
70	～ 79	1	2	3
80	～ 89	1	1	2
90	～	-	-	-
合 計		10	18	28
うち65歳以上の高齢者		5	10	15

～二セ電話詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和4年3月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	19
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	2
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	-
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	6
キャッシュカード手交型	-
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	1
合 計	28